



特定非営利活動法人

大学経営協会

「第 11 回大学法人における資産運用状況調査」

(国立大学法人対象調査票)

2026 年（令和 8 年）9 月

ご記入にあたってのお願い

- ※ 別紙「回答用紙」に該当する「番号」または「差し支えない範囲で内容」をご記入下さい。(答え難い項目については、空欄で結構です。また、書き切れない場合は、適宜の用紙へご記入ください)
- ※ ご記入いただいた
「第 11 回大学法人における資産運用状況調査」回答用紙(ご提出用) は、
同封の返送用封筒により、**10 月 10 日(土)必着**でのご協力をお願い申し上げます。

なお、データにての回答をご希望される場合には、ホームページ上の回答用
Excel シートをご活用ください。 <http://www.u-ma21.com/>

- ※ 本調査についてのお問い合わせがございましたら、以下までご連絡下さい。

<お問い合わせ先>

特定非営利活動法人 大学経営協会（U-MA）事務局（遠藤、前川、渡邊）
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1 日本プレスセンタービル
TEL 03-5501-3446、FAX 03-5501-3447
E-mail u-ma21@nifty.com

※適宜リモートワークを行っております お問い合わせは極力メールでお願いいたします。

以下の質問について、該当する項目を選択して下さい。またご回答は、別紙「回答用紙」に該当の「数字」または「差し支えない範囲の内容」をご記入下さい。

A 貴法人の資産運用に関する基本情報

A-① 国立大学法人法（平成15年法律第112号）第33条の5第1項の規定による文部科学大臣の認定についてうかがいます。貴法人は、認定を受けていますか。

A-①回答控 1

1. はい（回答控へ記入後、A-②へ進む）
2. いいえ（回答控へ記入後、A-③へ進む）

A-② 認定を受けた法人にうかがいます。基準の第1、第2、第3のいずれで受けましたか。

A-②回答控 2

1. 第1（回答控へ記入後、A-⑥へ進む）
2. 第2（回答控へ記入後、A-⑥へ進む）
3. 第3（回答控へ記入後、A-⑥へ進む）
4. 第4その1（回答控へ記入後、A-⑥へ進む）
5. 第5その2（回答控へ記入後、A-⑥へ進む）

A-③ 認定を受けていない法人にうかがいます。現在の状況をお聞かせください。

1. 現在認定の審査中である（回答控へ記入後、A-⑥へ進む）
2. 指定国立大学法人であるため（回答控へ記入後、A-⑥へ進む）
3. 今後申請を行う予定である（回答控へ記入後、A-④へ進む）
4. 今後も申請を行う予定はない（回答控へ記入後、A-⑤へ進む）

A-③回答控 3

A-④ 申請を行う予定の法人に伺います。基準の第1、第2、第3、第4その1、その2のいずれで行う予定ですか。

1. 第1（回答控へ記入後、A-⑥へ進む）
2. 第2（回答控へ記入後、A-⑥へ進む）
3. 第3（回答控へ記入後、A-⑥へ進む）
4. 第4その1（回答控へ記入後、A-⑥へ進む）
5. 第4その2（回答控へ記入後、A-⑥へ進む）

A-④回答控 4

A-⑤ 申請を行う予定のない法人に伺います。その理由は何ですか。（複数回答可）

1. 運用の拡大対象となっている寄附金等の自己収入が十分でないため
2. 認定基準等に記載された金融商品に係るリスクの許容が困難なため
3. 認定基準等に記載された資金運用管理体制の整備が困難なため
4. その他（ ）

A-⑤回答控 5

--	--

A-⑥ 令和7年度(昨年度)の第34条の3第1項の規定による業務上の余裕金（以下、余裕金）はどれ位ですか

A-⑥回答控 6

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 10 億円以下 | 2. 50 億円以下 | 3. 100 億円以下 |
| 4. 300 億円以下 | 5. 500 億円以下 | 6. 500 億円超 |

A-⑦ 収入に占める資産運用収益(受取利息・配当金収入+有価証券売却益-有価証券売却損)の割合はどれ位ですか

A-⑦回答控 7

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 1. 0%未満 | 2. 0%~1%以下 | 3. 1%超~3%以下 |
| 4. 3%超~5%以下 | 5. 5%超 | |

A-⑧ 有価証券運用を行っていますか

A-⑧回答控 8

- | | |
|--------|---------------------|
| 1. はい | (回答控へ記入後、A-⑨へ進む) |
| 2. いいえ | (回答控へ記入後、A-⑩へ進み、終了) |

A-⑨ 有価証券運用を行っている理由(目的)を教えてください(複数回答可)

A-⑨回答控 9

1. 教育研究事業の支援
2. 学生生活の支援(奨学金を含む)
3. 地域・社会貢献の支援
4. 国際交流事業の支援
5. 施設整備の支援
6. 保有金融資産のインフレヘッジ
7. 基金運用で果実を多く得るため
- 7.5. 基金を構築するため
8. 収入の落ち込みを補う
9. 使途を特定していない
10. その他 ()

A-⑩ 有価証券運用を行っていない理由を教えてください(複数回答可)。

A-⑩回答控 10

1. 元本割れに対する懸念がネックになっている
2. 現状の財政状況は有価証券運用に頼る必要はない
3. 内部規程で運用対象となっていない
4. 運用するほどの資金がない
5. 運用する担当者がいない。または、知識不足
6. 責任体制が明確でないから
7. 信用できる運用委託先が見つからない
8. 現在の市場金利が低すぎる
9. その他 ()

A-⑪ 余裕金に対する有価証券比率は何%ですか(令和7年度決算ベース)

1. 0% 2. 10%以下 3. 10%超～20%以下
 4. 20%超～30%以下 5. 30%超～40%以下
 6. 40%超～50%以下 7. 50%超

A-⑫ 余裕金に占める各金融商品の構成比率を教えてください。

今回の調査より構成項目を変更した関係から、前回比較のため誠に恐れ入りますが、令和5年度及び令和7年度の決算ベースの構成比率をご記入ください

(構成比率に関しては、小数点第二位を四捨五入) ¹²

金融商品		令和7年度 構成比率	令和5年度 構成比率
1.	預貯金	%	%
2.	外貨預金	%	%
3.	日本国債・政府機関債	%	%
4.	国内事業債（含む、金融債・円建て外債）	%	%
5.	先進国国債	%	%
6.	海外クレジット債券（事業債・新興国債）	%	%
7.	仕組債	%	%
8.	国内上場株式	%	%
9.	海外上場株式	%	%
10.	上場REIT（国内外）	%	%
11.	ヘッジファンド等	%	%
12.	プライベートエクイティ	%	%
13.	プライベートデッド	%	%
14.	私募不動産（国内外）	%	%
15.	その他（金、コモディティ等）	%	%
	合計	100%	100%
投資形態			
1.	個別銘柄への直接投資	%	%
2.	投資信託への直接投資	%	%
3.	金銭信託による投資一任契約（委託運用）	%	%
	合計	100%	100%
通貨分類			
1.	円建て（円ヘッジを含む）	%	%
2.	外貨建て	%	%
	合計	100%	100%

A-⑬ A-⑫に掲げる1～15の各金融商品のうち、最近（過去3年間程度）、新たに取り組んだ金融商品があれば挙げて下さい（複数回答可）

A-⑬回答控 12.1

--	--	--

A-⑭ A-⑫に掲げる1～15の各金融商品のうち、今後検討したい金融商品があれば挙げて下さい（複数回答可）

A-⑭回答控 12.2

--	--	--

B 貴法人の資産運用プロセスについて

B-① 資産運用方針の決定はどのように行いますか

B-①回答控 13

1. 役員会または資産運用委員会で決定する
2. 運用責任者が決定する
3. 運用方針を定めていない

--

B-② 資産運用計画の具体的な策定はどのように行っていますか

B-②回答控 14

1. 運用責任者または運用担当部署が策定する
2. 外部（証券会社など）の計画案をもとに策定する
3. 証券コンサルタントなどへ有料で計画案策定を依頼する
4. その他（ ）

--

B-③ 貴法人は基本ポートフォリオ（長期的な観点から安全かつ効率的な運用を行うことを目的とした、各資産を組み合わせた資産構成割合）を設定していますか。

B-③回答控 15

1. はい
2. いいえ

--

B-④ ポートフォリオ全体の目標リターンを設定していますか。

B-④回答控 16

1. はい（回答控に記入後、B-⑤へ進む）
2. いいえ（回答控に記入後、B-⑦へ進む）

--

B-⑤ その目標リターンはどのようなものですか（複数回答可）

1. 中長期の総合収益ベースの中長期での目標リターンの設定
 2. 毎期の安定的な利子・配当収入等の実現収益（回答控に記入後、B- ⑤-2 へ進む）
 3. 上記 1. と 2. の両方を重視（回答控に記入後、B- ⑤-2 へ進む） B-⑤回答控 17
 4. 中長期の目標をベースに、毎年度予算編成時に修正
 5. 毎年度予算編成時に目標リターンを設定
 6. その他（）
-

B-⑤-2 実現収益が目標に含めている理由を教えてください

1. 法人決算の単年度の黒字を維持するため B-⑤-2 回答控 17.5
 2. 基金の収益が特定の支出と紐づいているため
 3. その他（）
-

B-⑥ その目標リターンの水準はどのぐらいですか

1. 1%以下
2. 1%超～2%以下
3. 2%超～3%以下
4. 3%超～4%以下
5. 4%超～5%以下
6. 5%超～6%以下
7. 6%超～7%以下
8. 7%超～8%以下
9. 8%超

B-⑥回答控 18

B-⑦ リスク許容度についての貴法人の方針をお聞きます

1. 満期に元本償還の見込みがあれば単年度ごとの評価損は許容できる
2. 単年度ごとに実現損の発生は許容できない
3. ポートフォリオ全体のリスク特性が目標範囲内に管理されていれば個別投資対象の短期的な損失は許容する
4. リスク許容度を定めていない
5. 損切ルールが導入されている

B-⑦回答控 19

B-⑧ 外部に資産運用を委託していますか

1. 資産配分・銘柄選択などすべて大学独自で行っている
2. 一部だけ外部(信託銀行等)に委託している
3. 運用計画・運用の全てを外部(信託銀行等)に委託している

B-⑧回答控 20

B-⑨ 銘柄の選定、売買タイミングなど、個別商品の投資の決定はどのように行っていますか

1. 役員会または資産運用委員会で決定する
2. 特定の運用担当者に任せている
3. 財務担当理事または財務（経理）部長で決定する
4. その他（）

B-⑨回答控 21

B-⑩回答控 22

-

B-⑪回答控 23

- | |
|--|
| |
| |

C-①回答控 24

-

C-②回答控 25

-

C-③回答控 26

- | |
|--|
| |
| |

C-④ 資産運用の担当職員は何名ですか

27

() 名

C-⑤ 資産運用の方針を決定する委員会等を設置していますか

C-⑤回答控 28

1. 設置している (回答控に記入後、C-⑥に進む)
2. 設置していない (回答控に記入後、C-⑦に進む)

C-⑥ 学内に委員会等を設置している場合、委員の構成を教えてください。

29

役 員 () 名

教 員 () 名

職 員 () 名

監査法人 () 名

金融機関 () 名

その他学外 () 名

C-⑦ 資産運用状況や手続きの遵守状況をチェックする仕組みはありますか

C-⑦回答控 30

1. ある (回答控へ記入後、C-⑧に進む)
2. ない (回答控へ記入後、D-①に進む)

C-⑧チェックは誰によってなされていますか (複数回答可)

C-⑧回答控 31

1. 役員会
2. 内部監査部門
3. 監事
4. 監査法人
5. 経営協議会
6. その他 ()

C-⑨運用状況や手続きの遵守状況はどの程度の頻度でチェックされていますか。

C-⑨回答控 32

1. 年1回
2. 年2回
3. 年3回
4. 年4回以上

C-⑩ (学校法人/国立大学法人)

運用状況のチェックの際に、どのような内容の報告が求められていますか (複数回答可)

1. 資産運用の目的・方針
2. 運用管理体制

3. 資産運用を巡る市場環境（経済・金融市場・金融政策等の動向）
4. 期末の運用資産残高・運用資産構成（預金・有価証券）
5. リターンの期末実績
6. 運用資産残高の推移
7. リターンの推移
8. 今後の運用方針
9. その他

C－⑩回答控 32.5

--	--	--	--

D 貴法人の資産運用における課題

D－① 貴法人の資産運用には課題があるとお考えですか

D－①回答控 33

1. はい（回答控に記入後、D－②に進む）
2. いいえ（回答控に記入後、E－①に進む）

--

D－② 貴法人の資産運用の課題はどのようなものですか。重視しているものを下記より最大 3 つ選択し、1 から順に 3 番までご記入下さい。

D－②回答控 34-36

1. 低金利環境下で十分な運用益が見込めない
2. 資産運用に精通した人材が学内（役員を含む）で見当たらない
3. 学内関係者から資産運用に対する理解が得られない
4. 運用規程に記載の制約が厳しく、資産運用の見直しに踏み出せない
5. 資産運用の責任が明確でない
6. 建物の建設や用地の取得、周年事業等に資金を充てる必要がある
7. 資産運用に人員や時間を充てる余裕がない
8. 資産運用委員会を設置する必要がある
9. 資産運用委員会が期待された機能を発揮していない
10. 有価証券運用方針が明確でない
11. 目標リターンが明確でない
12. その他
()

E アセットオーナープリンシプルの実状について

E-① 貴法人はアセットオーナープリンシプルを受入れていますか

E-①回答控 37

1. はい (回答控に記入後、E-②に進む 又は 終了する)
 2. 検討中 (回答控に記入後、E-②に進む)
 3. 受入れの予定なし (回答控に記入後、E-③に進む)
- (理由:)

--

E-② アセットオーナープリンシプルを検討する際、障害になっていることはありますか (複数回答可)

E-②回答控 38

1. 資産運用の体制が未整備
 2. 関係規程類の整備が出来ていない
 3. 体制や規程を整備する余裕がない
 4. 理事会等への説明が容易でない
 5. 専門人材の不足
 6. その他
- ()

E-③ アセットオーナープリンシプルの受入れを予定していない理由は何ですか (複数回答可)

E-③回答控 39

1. 資産の運用をしていない
 2. 資産運用はしているが少額であり体制を整備する予定がない
 3. 資産運用はしているが人手が足りず体制を整備する余裕がない
 4. 理事会等に対して、受入れについて説明できる人材がいない
 5. 受入れの意義がわからない
 6. その他
- ()

F 令和8年7月文部科学省・経済産業省「大学の資産運用の促進・高度化に向けたガイドブック」
発行についての質問です

F-① 資金運用を行っていない大学

1. 特に動きはない
2. 事務レベルで運用の検討を開始(する方向・した)
3. 理事会レベルで運用の検討を開始する方向(する方向・した)
4. 資金運用を行うことを決定した

F-①回答控 40

--

F-② 既に資金運用を行っている大学 (複数回答)

1. 既に株式、オルタナティブ資産も運用しており、特に変化はない。
2. オルタナティブ資産の運用の検討を開始(する予定・した)
3. オルタナティブ資産を運用することを決定した
4. 株式の運用の検討を開始(する予定・した)
5. 株式を運用することを決定した
6. アセットオーナープリンシプル受け入れの検討を開始(する予定・した)

F-②回答控 41

～以上で「第11回大学法人における資産運用状況調査」は終了です。

ご多忙中、ご協力誠にありがとうございました。～

なお、皆様のご協力により実施いたしました第6回～第10回のアンケート結果につきましては、当協会ホームページ(U-MA21で検索)の「活動内容」「調査・研究報告」に掲載しておりますのでご高覧ください。